

深浦会東京だより

第5号

深浦会 東京事務局
〒154 東京都世田谷区上馬4-23-7
トポス.M.駒沢102
TEL 03-3418-0914
FAX 03-3422-0483

「東京の深浦祭り」近づくと



会長 黒滝 進

会員の皆様には、まずまず清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は会の運営にご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

昨年四月に第三回総会・交流会が開かれ、二百五十名の会員が出席し盛会でした。八月には深浦で「チビッコ交流会」がもたれ、十五名の子供さん

が親の生れ故郷で、一生の思い出を刻みました。また十月には、十五名の方々が世界遺産登録の白山神社を散策し、ブナ原生林の規模と意義深さを再認識し、併せて深浦の新しい秋祭り「チャンチャン祭り」を堪能しました。このほか、年三回会報

「深浦会東京だより」を発行し、会員相互のコミュニケーションの場を作り、また町の「広報ふかうら」のコーナーに毎月違った人が寄稿し、東京圏と深浦のコミュニケーションの一端を担わせてもらいました。そしてまた、「広報ふかうら」の購読の呼びかけを続け、現在では約二百名の方が毎月深浦の広報紙を読み、深

浦の風にふれています。これら活動の模様は、深浦では広報ふかうら、東奥日報、陸奥新報に紹介され、東京では県人会誌「東京と青森」、毎日新聞の「ふるさとだより」などに紹介されました。以上のように年間の行動計画は、おおむね予定どおり実行されました。一つ一つの味は必ずしも満足のいくものではありませんが、かつたかもしませんが、諸々の制約があるなかで、総じて好評を博したように思われます。これも会員各位のご協力と町のご支援があったればこそで、ここに改めて感謝申し上げます。

ところで、また総会・交流会の期日が近づきました。今年も大勢の人に集まってもらい、恒例の「東京の深浦祭り」を盛り

り上げていってほしいと願っています。昨年の総会の折、来賓として出席した青森県人会の鍋谷会長は、会場の三百人の東京の深浦人を目のあたりにして、「この熱気と盛り上がりはいったいどこからくるのでしょうか」と驚いていました。その時は、会を盛り上げていく諸活動もさることながら、基本的には深浦人の深浦を誇り、深浦に寄せる思いが強いこと、つまり愛郷心が旺盛であるからではないかと感服したものでした。

さて、今年の総会・交流会も懐かしさにあふれ、なごやかで、それぞれが「思い切って出てよかったです」「みんなと会えて元気が出てきた」と評されるものにしたとと考えています。そのためには、

私たちが深浦で子供だった頃、年に一度の地域の祭りは待遠しく、指折りかぞえて待ったものでした。あの老いも若さも待ちこがれた感覚を、この「東京の深浦祭り」にダブラせることができればと考えています。

どうぞ皆さん、多くの人に声をかけ、年に一度のお祭りにお出かけ下さい。

「深浦会東京」会員の皆様におかれましては、それぞれの分野において益々活躍のこととお慶び申し上げます。また、深浦町では町村合併40周年という節目の年となった。昨年、年頭の阪神・淡路大震災をはじめオウム事件、住居問題、いじめ問題など様々な事件・問題が発生した多事多難な年でありました。また、私事で恐縮ですが、昨年8月の町

長選挙において町政2期目を担当することとなりました。今後とも皆様のご指導・鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。さて、深浦町の人口は、昨年10月1日の国勢調査で九千五百五十五人と初めて1万人の大台を割るにいたりしました。毎年約一〇〇人という若年層を中心とした人口流出が止まらない中で、あずまじいふるさと深浦を、目指して平成8年度に予定しております事業をいくつか申し述べたいと思っております。まず、観光施設の整備として浜町埋立地に建設を進めていた「ピアハウ

なにはともあれ一人でも多くの人に参加してもらおうことが大切です。参加者が多ければ多いほど、懐かしさも、感激も大きくなるからです。今年も深浦から町長以下多数の方が上京され、私たちが激励されると共に、「深浦の味」も提供してくれらるることになっています。懐かしい味もまた、私たちの感慨を増幅してくれるはずで

「深浦会東京」会員の皆様におかれましては、それぞれの分野において益々活躍のこととお慶び申し上げます。また、深浦町では町村合併40周年という節目の年となった。昨年、年頭の阪神・淡路大震災をはじめオウム事件、住居問題、いじめ問題など様々な事件・問題が発生した多事多難な年でありました。また、私事で恐縮ですが、昨年8月の町

平成8年5月吉日

会員各位

「深浦会東京」第4回定期総会・交流会の開催について(お知らせ)

深浦会東京
会長 黒滝 進

拝啓

新緑の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃、当会の運営につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第4回定期総会・交流会を下記のとおり開催いたします。深浦町からも町長をはじめと多数の方々に参加されますので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成8年6月23日(日)午後1時より
2. 場 所 きゅりあん(品川区総合区民会館)
東京都品川区東大井5-18-1 03(5479)4100
3. 交 通 JR京浜東北線大井町駅南口、東急大井町駅下車徒歩1分
4. 会 費 一家族7,000円、個人5,000円(年会費1,000円を含む)
5. 申込方法 同封の「はがき」に必要事項を記入し、6月10日までにご返送下さい。

※なお、当日、ご出席できない方は年会費(1,000円)を別紙郵便振替払込書にてお振り込み下さい。なお、振込手数料は、当会にて負担いたします。

※「広報ふかうら」の継続購読の申込みをすでにされた方、並びに今回新規に購読を希望される方は、別紙郵便振替払込書にて購読(2,000円/年)をお振り込み下さい。なお、振込手数料は当会にて負担いたします。

▼深浦会東京事務局 TEL 03(3418)0914 FAX 03(3422)0483



前年の総会・交流会より



地元出身の安辻富士さんも参加

みなさんが心待ちにしている「深浦会東京」の八年度定期総会と交流会が、6月23日(日曜日)

に東京・大井町の「きゅりあん(品川区区民会館)」で開催されます。昨年は参加者が三〇〇

名以上も集まり、ふるさと深浦から運ばれてきたヒラメ、マスの刺身、サザエのつば焼き、イカの

今年も、どんな懐かしい人に会えるかな

お待ちしています

藤田顧問に文化功労褒章
当会顧問、初代藤田周次郎氏に青森県文化功労褒章が贈られました。長年民謡界の重鎮として活躍されていること、福祉活動に対するもので、心より御祝い申し上げます。

交流会が間近になった。「いいね、いいね」と心が弾む。今年はどうな懐かしい人に会えるかな、なまりある津軽弁の中で、あのおいしい、懐かしい深浦特産物を食べ、それに近況を語り、素晴らしいひとときを過ごせたいと思うと、その日が来るのが待ちどおしいものです。皆さんも、友人や家族とともに是非参加して、楽しい一日を過ごしましょう。

「深浦会東京」会員の皆様におかれましては、それぞれの分野において益々活躍のこととお慶び申し上げます。また、深浦町では町村合併40周年という節目の年となった。昨年、年頭の阪神・淡路大震災をはじめオウム事件、住居問題、いじめ問題など様々な事件・問題が発生した多事多難な年でありました。また、私事で恐縮ですが、昨年8月の町

この夏、あなたの 子供たちは深浦っ子になる!

第3回チビッコ交流会のご案内

私達のふるさと深浦の大自然を子供達にも満喫してもらいたい……。そんな趣旨で始まったチビッコ交流会も大好評のうちに第3回を迎えることができました。今年もたくさんの子供達に、ふるさと深浦町の自然・名所・祭りを体験してもらい、郷土への愛情心と集団生活を通して、協調性、自立性を養ってもらいたいと思います。

また、地元の子供達との交流により、お互いの親睦も深めたいと思います。

1 期 日 8月2・3・4・5日(3泊4日)

2 募集人数 15名

3 対象者 小学校3年生～中学校3年生

※親が深浦町出身者にこだわらず、知人等のお子さんも歓迎します。

4 参加予定行事

- ・子供会の「ねぶた祭り」
- ・じゃがいも畑での「じゃがいも掘り・パーベキュー大会」
- ・岡崎海岸での「海水浴・日本初のウォータースライダー体験」
- ・海中遊覧船ミエールふかうら号での「海中探検」
- ・地元の子供達との「グランドゴルフ」
- ・深浦名所旧跡バスツアー

5 宿泊場所 ウェスパ椿山、八森山バンガロー

6 交通機関 航空機(予定)

7 参加費 小学生 25,000円、中学生 28,000円

※交通費、宿泊代、食事代、旅行保険料込

8 申込方法 6月10日までに事務局へご連絡下さい。

尚、先着順として、定員になり次第、締切ります。

9 申込先 〒154 東京都世田谷区上馬4-23-7

トボスM駒沢102

深浦会東京事務局 TEL 03(3418)0914 / FAX 03(3422)0483

10 その他 常時、深浦会役員及び町担当者がお世話いたします。

詳しい予定等は、後日、参加者にご連絡いたします。

事務局からです

1. 年会費の納入のお願い。

総会・交流会に参加できない方は、同封の郵便為替用紙にて、平成8年度分の年会費1,000円のお振込みをお願い致します。振込手数料は、当会にて負担いたします。

2. 「広報ふかうら」への投稿のお願い。

当会では、深浦町で毎月発行しております「広報ふかうら」へ、会員の皆様のご意見、ご感想等の投稿をさせて頂いております。投稿をご希望の方は、事務局までご郵送下さい。

内 容……特に問いません。

活字数……800～1,000字位。

写 真……1～2枚。

3. 「深浦会東京だより」への投稿のお願い。

今回第5号となりました、当会の会報への投稿を募集しております。内容等は一切問いませんので、投稿をご希望の方は、事務局までご郵送下さい。

活字数……600字位

4. 住所変更をされた方へのお願い。

住所変更された方は、事務局までご連絡下さい。

5. 「広告」を募集しています。

当会では、今号より広告欄を設けました。

ぜひ、ご活用頂きたいと思っております。

ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

手造りお弁当
スタンドカレー
花みずき
☎3976-0288
お買い上げありがとうございます。
電話注文承ります。

東京都板橋区赤塚7-19-15
代表者 吉川 清一
TEL (03) 3976-0288

居酒屋
つがる

東京都板橋区高島平7-11-8
代表者 山本 良子
TEL (03) 5997-6828

ふるさとの恩師から

深浦小学校長 野呂 瑞雄



4月中旬の降雪には驚き、古い人に言わせてもかつてなかったことであり、今年の春到来はいつもと比べちょっと遅いようです。学校前の桜も5月1日にしてようやく蕾がほころび始めましたが、これも、4月前半の低気温のいじわるが影響しているようです。東京には、1千名を越える深浦出身の方々が

統合深浦小学校に思う

世の常でしょうか、古いものが徐々に消え去りつつあります。ところで、この4月に深浦小学校に勤務することとなり、早いものでひと月が過ぎ去りました。私自身、深浦町岡町の出身ですので、この学校はかつての母校でもあり、

高台に移り、児童数が三分の一に減り、古い親しんだ校歌もなく、朝夕スクールバスが行き交う新生深浦小学校であり、時代の流れとはいえ一抹の寂しさも感じています。ただ、ほっとさせられるのはやはり子どもたちの姿です。白ズボンがトレパ

学校の教育も大きい変革の中にあります。揺れ動く時代の波にさらわれることなく、常に変化に主体的に対応できる人間の育成をめざして、頑張りたく思っております。皆様方のますますのご健勝とご活躍を期待しております。

さまざまないい思い出で赴任したところ、ちょっと様子が違っていました。5校統合での生まれ変わった深浦小学校ですので、当然といえは当然ですが、母校のイメージとして心に抱いていたものがほとんどなく、時代の移り変わりを感ぜられつつあります。私が小学生の頃の40年程前と比較して、学校の場所がンになり、ドッジボールがサッカーになりはしましたが、グラウンドを無邪気に走り回る姿そのものは昔も今も変わらないようです。はつらつとした元気いっぱい姿からは現在世に飛び交う「いじめ」問題も無縁のように思われます。何とか、将来生きていく上での役に立つ力を身につけさせたい、などと

チャンチャン祭りに参加して

チャンチャン祭りとお神もみじ狩りの旅

松尾 理沙



一行十六名、十月二十一日羽田発六時四〇分の飛行機で一路秋田空港へ。秋田空港では、深浦町企画課の皆さんが、町所有の大型バス「アクティブ深浦」号で歓迎。皆、朝が早かったにもかかわらず、国道一〇一号線海岸通りの景色を楽しみながら、八森町鹿の浦休憩所に到着。ここで小型バス「アクティブ深浦」号に乗りか



えて白神山に登山、山本さんの説明を聞きながら前日の雨がやみ残る天候の中、紅葉した山々が眼下に広がり素晴らしい眺めだ。昨年は赤石川入口より入山したが眺めは八森町側から入った方が良いでしょう。二ツ森駐車場に到着。量もたっぷりでおいしい弁当と山崎さんの先導で二ツ森山頂をめざし登山開始。ところが、ひどいぬかるみで足もとがすべり濡れるしでほとんどの人たちが引き返す中、北村さんがどうしても頂上迄をと頑張り、その心意気やよしと松尾も頑張り九号目あたりで時間がないとの事、残念ながら引き返す、北村さんゴメンね

翌日は午後二時半迄自由行動、二時半深浦町役場前より出発。高齢のおばあさまが三人、さわやかに身じまいをし、チョコなお立ちになって見送ってください。小野さんと戸崎さんのお母さんそしてわが母。ありがとうございます。バスは出発、秋田空港でアクティブ号とお別れ、羽田着二〇時五分、解散。なんだか慌しいスケジュールながら気分は充実。今回も町側のご配慮には心から感謝。今年も皆さんふるって参加してください。

「ウェスパ椿山」到着、(管理人さんその節はお世話をおかけしました)。時間にも追われていたのも気にせず、ひと風呂あびてあたたかい気持ち、それとまたバスに乗ってチャンチャン祭りの会場へチャンチャン焼をたたく御馳走になって、その夜は実家やお宿でドデスカデン。